

## 平成 28 年度(2016 年度)第 4 回三者懇談会（吹田市立南保育園）

- 1 開催日時 平成 29 年 3 月 22 日(水) 午後 7 時～午後 8 時 10 分
- 2 開催場所 南保育園 遊戯室
- 3 出席者 南保育園保護者代表（南保育園父母の会会長ほか）  
社会福祉法人こばと会（こばと会理事長、こばと保育園長、こばと保育園保育士、さくら保育園保育士）  
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、保育幼稚園室主査、保育幼稚園室係員、南保育園長、南保育園長代理）
- 4 議 題 1 確認事項の質疑応答について  
2 合同保育について
- 5 議事要旨

### 1 開会

吹田市： ただいまから第 4 回三者懇談会を開会いたします。はじめにお手元の資料確認をさせていただきます。

（資料の確認）

### 2 出席者紹介

吹田市： まず、三者懇談会の出席者の皆様について御紹介させていただきます。

（出席者紹介）

吹田市： 今回は、来月から始まる合同保育に来ていただく保育士のお二人にも御参加いただいております。こばと会理事長から、お二人の経歴等についてご紹介いただきたいと思います。

こばと会： 4 月から南保育園の合同保育に派遣する羽谷直子と山本勝也を紹介します。羽谷は、学生時代に実習で南保育園に来ており、懐かしいと本人も言っております。2 児の母で子育てをしながら、こばと会で働き続けて 4 月で 17 年に入ります。最初の 2 年間は介護施設で仕事しており、さくら保育園には開園時から 14 年間働い

ています。山本は男性保育士です。こばと保育園で10年になります。1児の父で親としての心構えもあると思います。

こばと保育園とさくら保育園の中でも保育を引っ張ってくれている2人を派遣します。民間と公立では様々な違いがありますが、一生懸命頑張ってくれると期待しておりますのでよろしくお願いします。

吹田市： 続けて、お二人からも一言ずつお願いしたいと思います。

こばと会：（山本保育士）山本勝也です。こばと保育園で働いており、ちょうど10年になります。こばと保育園では、思い切り遊ぶことをモットーに、子ども達と泥まみれになりながら楽しんでできました。4月からの合同保育に入らせていただきます。子ども達とは遊ぶ中で、保護者の方の不安に対しては交流を行って様々なお話をすることで、信頼関係を築いていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

こばと会：（羽谷保育士）はじめまして、さくら保育園の羽谷直子です。私は公立の垂水保育園で卒園までの6年間を過ごし、今でもその時のことを覚えています。どろんこ遊びや泥団子を一生懸命作った子ども時代のことは、大きくなっても体に染みついており本当に楽しい思い出です。吹田市の公立の保育は歴史があって本当に魅力があります。南保育園で大事にしてきた保育や行事をしっかりと引継ぎ、より良い保育を皆さんと一緒に作っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 3 確認事項の質疑応答について

吹田市： 皆様ありがとうございました。

三者懇談会では、確認事項についてテーマを絞って協議を行っていくこととしております。今回は「人事について」、「修繕について」、「給食について」を中心に保護者の皆様から御質問をいただいております。

御質問に対して、吹田市とこばと会様から回答をさせていただきますが、その前に、南保育園父母の会会長様から、父母の会で実施したアンケートや父母会総会の結果についての御報告があるとお聞きしております。父母の会会長様、よろしくお願いいたします。

（南保育園父母の会会長から報告）

吹田市： ありがとうございます。では、御質問に対する考え方を回答いたします。

(吹田市から回答)

(社会福祉法人こばと会から回答)

吹田市： 御質問に対する回答を行いました。何か御意見や疑問に思われたことはありませんか。

保護者： 保護者のアンケートでトイレの修繕希望がありましたが、どのように考えていますか。また、今後どこを直していくのか具体的に教えてください。

吹田市： 平成 29 年度に行う修繕の主な内容としては耐震化補強工事と屋上防水工事です。修繕については、公立保育所 18 園で様々な要望が出てくるなか、緊急性を考えながら優先順位をつけて進めていきますので、今「ここを修繕します。」というのはなかなか申し上げにくいです。

ただ、民営化に伴う修繕を通常の修繕とは別に行うこととし、民営化前 2 年間で計 600 万円程度の予算をつけました。給食の時に使用するダムウェーター（小型リフト）や遊具の修理、壁紙の張替等様々なことをしています。

保護者： トイレがかなり臭いと聞いていますが、それは緊急性がないのですか。

吹田市： 5 歳児のトイレの匂いについては以前から伺っております。パッキンの蓋が欠けていることが原因の一つと考えており、今年度中に交換できるように進めております。交換しても匂いがおさまらなければ、園長とも相談して対応を検討していきます。

保護者： 2 歳児以上の連絡帳で紙ファイルを希望する場合には、中身の印刷をしてほしいということでした。今まで印刷してくれたのに、なぜ自分で印刷をしないといけないのですか。希望の人がいれば印刷してほしいです。

こばと会： 特別な対応を求めておられると誤認していました。これまで皆さんに対して行っていた内容であれば対応できると思います。

保護者： 平成30年4月入所園児から布団をリースか持参にするとのこと。その場合、平成29年4月に0歳で入園する人は布団が無料になるのに、平成30年4月に1歳で入園する人はリースになります。この2人は同じクラスになることもあるのに、無料の人とリースの人がいるのは不公平な気がします。

こばと会： この4月から入園される方には、吹田市の負担で布団を購入したり、これまで購入した布団をそのまま使ってもらうことになると思います。その翌年の4月からは、吹田市から費用が出ませんので、園が布団の予算を計上する必要があります。布団の予算を計上するためには、他の予算を削らないといけないため、どうすべきか保護者の方に判断を仰がないといけません。リースを利用せずに自分で布団を購入し、洗濯をする方もいます。いつも綺麗な状態で使用できるのでリースがいいという方もいます。こばと会のルールでやっていただくか、公立のルールを引継いで布団を無料にするかわりに、他の予算をどうするか考えるということになります。

保護者： 民営化園に対して、市が布団の費用を出すことはできないんですか。

吹田市： 民間の保育所になるということですから、そういった点も含めて社会福祉法人こばと会さんの判断にお任せすることになります。公立保育所ときは公立のやり方ですが、公立保育所でなくなった場合は、引き継いだ法人さんのやり方でやっていただきます。

保護者： 悪くならないと言っていたのに、今まで取っていなかった費用を取らざるを得なくなっているのではないですか。

吹田市： 布団の取扱いも含めて公立のやり方が一番いいとは思っていません。南保育園での様々な引継ぎ内容については、協議を行いながら進めていきます。ただ、私立保育所は決められた公定価格や補助金等のなかで保育所を運営しています。その点については御理解いただきたいと思います。

保護者： 父母会費の繰り越しが結構残っています。修繕を含めて市での対応が難しい場合に、父母会の費用で対応してもいいのでしょうか。例えば、保育園の前に「保育園あり徐行」という看板をつけてほしいと声があったりします。できるのであれば

れば何とかしたいと思っています。

吹田市： 警察による規制等があるので、道路に何かをつけるというのは難しいと思います。園の壁であれば園の判断で構わないとは思いますが、具体的にどのような内容を考えているのか協議をさせてください。

保護者： パート・アルバイトの雇用は、今のところ0人と言われていましたが、最終的に0人の可能性はありますか。

こばと会： 今も、確保に向けて一生懸命努力しております。

保護者： 公立と民間は賃金の単価が違います。残ると言ってくれる人がいたとしても、気が変わって他の保育所に就職してしまうことがあるかもしれません。パート・アルバイトの方が誰も残ってくれなかったまま民営化した場合、園の年間行事等を分かっているのは4月から合同保育に来てくれた2人と市から引継ぎ保育で来る2人の計4人だけです。そのような状態で引継ぎ保育がうまくできるかどうか一番不安に思っています。4人で南保育園の行事等を引継いでいけるのですか。また、民営化に伴う子ども達のストレスをどのようにケアしていきますか。

こばと会： 保育士の確保は公立でも苦勞していると聞いております。他の民間園の方からも、この4月からの担任が決まらない、主任の先生をクラスに配置しないといけない等、保育士確保に関する厳しい状況を聞いています。こばと会は民営化の対応もしないといけませんので、今年度ずっと採用活動をしており、そのような事態には陥っていません。

こばと保育園では、クラス配置や地域担当、事務所の主任や副園長とは別に4人のフリー保育士がいます。さくら・さくらんぼ保育園にも2人のフリー保育士をつけることができるようにしています。引き続き、採用活動を行いながら保育士を確保して、皆さんに不安をかけないよう、また職員が困らないようにしていきたいです。

実際の雇用状況でいうと、正職採用であれば応募がありますが、フルタイムの非常勤職員の確保は難しいです。自分のお子さんを学校に送り出してから、帰ってくるまでの間に働きたいとパートを希望される方は多いです。フルタイムの場合は

様々な園で正職の保育士採用をしていますが、非常勤職員を希望する方は少なく、どの園も苦勞されています。

子どものストレスや不安は民営化を行う場合に必ず起こる課題と考えています。この課題に対応するため、これまでに民営化を経験した法人の園長先生に来ていただいて学習会を行ったり、山本と実際にその園に行って話を聞く機会を設けたりしています。

今回、羽谷と山本に南保育園の合同保育を4月から担当してもらおうと決めましたが、こばと会にとって大変重い決断でした。山本はこばと保育園で、かっちゃんと慕われており、いなくなったら子ども達が不安になるという声もあります。さくら保育園の羽谷も同様です。しかし、経験があり、保護者や子どもからも慕われている信頼のおける先生、抜けたら一番困る先生を送り出すことをこばと会は決断しました。1月からの保育士についても、責任を持って送り出すつもりです。子ども達のストレスがなくなるわけではないですが、ご家庭としっかり連携を取りながら、子どもにとって一番の引継ぎをさせていただきたいと思います。

保護者： こばと会で保育士が1人抜けただけでも不安な子どもがいるのに、南保育園は一気に人が変わってしまいます。その時の子ども達のストレスをどのように考えていますか。

吹田市： 合同保育時には、こばと会から7人の保育士が来ます。1月から各クラスに1人ずつ配置します。子ども達にとって、できるだけ人が変わらないような環境を整えて移管をしたいので、今、南保育園で働いているアルバイトさんたちが残ってくれるように園長からもお願いをしています。市としても一番心配なのは子ども達への影響と考えており、民営化された保育所を何園も見学して、どれだけの保育士がいたらスムーズに引継いでいけるのかを公立保育所の園長たちで話し合っ、この人数に決めました。

4月から南保育園の年間の流れを知ってほしいので、こばと会の2人の保育士に来てもらいます。1月からはさらに5人の保育士に来ていただき、毎日子ども達と生活を共にして遊んでいくなかで信頼関係を築いていきます。行事等も引継ぎをスムーズに進めたいと考えています。保育士が動揺してしまうと子ども達や保護者の方も動揺してしまうので、子ども達の気持ちを考えて保育士が踏ん張っていきます。子どもたちは常に未来のことを考えており、4月になったら新しい

先生と一緒に次のステップに進んでいこうという思いを抱いています。私たちもそういった子ども達の思いを支えていきたいと考えています。

保護者： 発達支援が必要な子どもに対する加配の先生も変わると思います。そういった子どもにとって、急に先生が変わるのはよくないと思います。

吹田市： 今までも、加配の先生が毎年同じ先生になるとは限りません。その点は、担当する先生が子ども達としっかり信頼関係を築いていくので大丈夫だと思います。

吹田市： 次に、具体的な合同保育の中身や予算についての説明をさせていただきたいと思います。

(吹田市から合同保育について説明)

保護者： 合同保育の予算額は 1,399 万 5,000 円ということですが、これは人件費のみですか。屋上防水工事の費用等は入っていないのですか。

吹田市： 人件費のみです。どちらも平成 29 年度予算ではありますが、屋上防水工事の予算は工事請負費になりますので、合同保育の人件費に対する助成金とは別です。

保護者： 4月から来られるお二人の保育士さんに伺います。何を一番大切にしたいと思っているのか、具体的にどういう思いで勤務されるのか聞きたいです。

こばと会： (羽谷保育士) 今まで他市で民営化された園の先生たちからも保護者の不安について聞いてはいましたが、今日実際に保護者の皆さんから直接お話をお伺いするなかで、やはり子ども達や保護者の皆さんの不安がとても大きいのだなとすごく感じています。その点を第一に考えながら、まずは子ども達と遊ぶなかで、信頼関係を作っていきたいと考えています。保護者の皆さんには、子ども達の様子や成長についてたくさんお話をしたいです。保育を行ううえで大事にしていることを南保育園の先生方から引継ぎ、一緒に保育をしていこうと思っています。皆さんが不安に思っていることを直接教えていただき、一緒に考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

こばと会：（山本保育士）私は遊ぶことが大好きなので、子ども達と思いっきり遊びたいと思っています。遊びの中で、子ども達は友達関係が広がり、深まり、先生との信頼関係を培っていけるとと思っています。乳児と一緒に生活する中で信頼関係を深めていきたいと思っています。こばと会の保育をとというのではなく、南保育園の保育を学んで、引継いでいくというスタンスでやっていきたいです。

知っている先生が園からいなくなれば、子ども達だけでなく、保護者の方々もすごく不安になると思います。そういった不安は私たちにもぜひ伝えていただいて話し合っていきたいと思っています。保護者や子ども達をはじめとして多くの方と手を取り合いながら、一緒にこれからの南保育園を築いていきたいです。

こばと会：二人からもお話をさせていただきましたが、こんなことを大事にしてほしいという希望があれば、是非私たちに聞かせてください。

保護者：こばと会は吹田保育園の移管先事業者にもなられたと聞きました。人員の確保が難しいと聞いているので心配しています。

こばと会：吹田保育園はこばと保育園と同じ地域にあり、様々な学習会や行事を一緒にやってきていますので、もともと吹田保育園の移管先事業者になりたいという気持ちはありました。南保育園の移管先事業者になった後、吹田保育園の保護者の方が来られまして、こばと会に引き受けてほしいというお話がありました。その時は難しいとお答えしましたが、吹田保育園に関わってこられた方からも願いをされたため、皆さんが協力していただけるのであれば、応募しようということになりました。

南保育園の職員の採用については、なんとか目途がつきつつあります。南保育園で仕事をしている常勤の先生方に1クラス1人くらいは残っていただきたいと思っていますので、様々な活動をしながら努力しているところです。

他の民間園でも民営化を受けたいという声を聞きますが、吹田市が示している保育士の配置条件等をクリアするのは難しいです。私たちはこれまで公立保育所の関係者も含めて、様々な方達と一緒に保育運動を進めてきた経過があります。そういった方達の協力を受けることによって吹田保育園を引継ぐことができると判断し、応募いたしました。

吹田市： 選定委員会の中でも、南保育園の翌年に吹田保育園の移管先になるのは大丈夫なのかという御議論がありました。しかし、様々な点から御判断いただいた結果、基準点以下をつけた選定委員はいませんでした。吹田市としても、選定委員会の答申を受けて安心して任せられるという判断をしましたので、南保育園に引き続き、こばと会を吹田保育園の移管先事業者に決定いたしました。

選定委員会の中で、吹田市内の事業者で応募していただけたところがあまりないのではないかという御意見があり、吹田市内の事業者で応募がなければ、他市の事業者を対象にするという募集条件にしましたが、吹田市内の事業者に応募していただき決定することができたので、安心していただいております。

こばと会： 布団を含めた費用負担のことや、公立保育所の先生方がいなくなることに對して保護者の皆さんが心配されていることはよく分かります。先生方に一人でも多く残っていただけるように、賃金の面を含めて最大限に努力したいと思っています。1園目となる南保育園の民営化を成功させるように、法人として全力を上げて頑張っていきたいです。

また、子ども達のためですので、布団のリースや修繕費用のこと等、様々な要望を吹田市に出しています。実現できるかどうかは分かりませんが、これからもそういった要望をしていきます。

吹田市： 予算に限りがありますが、こばと会にお渡しする施設ですので、相談しながらできるだけ希望が叶うような修繕を進めたいと思っています。ただし、屋上防水や耐震化は大規模な工事になりますので、柔軟な対応が難しいです。工事の際は保育の場所を移動したりすることもあります。御協力をよろしくお願いいたします。

保護者： 園長予定者は決まっていますか。また、園長予定者は4月からどのような形で参加になりますか。行事には参加してくれると思いますが、それ以外ではどのような頻度で来ていただけるのですか。

こばと会： 岩崎理事長を園長予定者と考えています。岩崎理事長は、これまでこばと会の全施設の建設に携わってきました。最近ではこばと保育園の建替えも行っており、建物の設備や改修費用については誰よりも経験があります。南保育園については、

1年間かけて、今後の改修や修繕について考えないといけません。吹田市からこれまでの修繕履歴を見せていただき、業者に見積りを依頼する必要があります。園長予定者には主にそういった任務にあたっていただきます。もちろん、2人の保育士からの報告を受けたり、来年1月から来る職員に必要な内容を伝えたりはします。

こばと会： 前回の三者懇談会で給食を食べてみたいという御意見があり、さくらんぼ保育園で給食試食会の準備をしていましたが、なかなか皆様の御都合が合わず、参加者がいなかったとお聞きしました。また御要望があればあらためて日程調整をいたしますので、よろしくをお願いします。

吹田市： 本日はこれにて閉会させていただきます。次回の開催については、協議を行ったうえで後日お知らせいたします。遅い時間までありがとうございました。